

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ桜の郷支援教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 28日		～ 2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での情報共有やミーティングを通して、児童の状況を共有しながらチームで支援を行っている点。	日々の支援前後の情報共有や記録作成を通して、児童の様子や支援方法を職員間で共有している。	地域との交流や地域行事への参加機会が十分とは言えない点。
2	保護者との日常的な情報共有を行い、家庭の状況や児童の様子を踏まえた支援を行っている点。	送迎時や連絡帳を活用し、保護者へ日々の様子を伝えることで共通理解を図っている。	保護者同士の交流機会が少ない点。
3	運動活動や制作活動など多様な活動を取り入れ、児童が意欲的に参加できる支援を行っている点。	児童の興味や発達段階に応じた活動内容を検討し、楽しみながら社会性や生活力を育てる支援を意識している。	外部研修や第三者評価など外部からの視点を取り入れる機会が限られている点。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や地域行事への参加機会が十分とは言えない点。	日常業務や送迎業務が多く、地域交流の機会を設ける時間の確保が難しい場合がある。	地域施設の利用や地域イベントへの参加など、無理のない形で地域との関わりを持つ機会を検討する。
2	保護者同士の交流機会が少ない点。	保護者の就労状況や生活状況により、交流の場を設けても参加が難しい場合がある。	保護者への情報提供や交流の機会について、参加しやすい方法を検討していく。
3	外部研修や第三者評価など外部からの視点を取り入れる機会が限られている点。	職員体制や業務状況により、外部研修や外部評価の機会を十分に確保できない場合がある。	外部研修や専門機関の助言等を活用し、職員の支援力向上に取り組む。